

思春期の子どもの悩み、親はどうすれば・・・ 指導のためのプログラム

< 展開例 >

1. 指導の機会
中学校 学年保護者会
2. 対象学年等
第3学年(第2学年)の保護者
3. ねらい
・ 思春期の子どもはどんなことで悩み、どう解決しているのかを知り、親としてのスタンスを考える。
(1) 題材 思春期の心と身体、異性と性
(2) 展開

時配	指導の流れ	指導上の留意点
3	<p>1 導入</p> <p>○家での子どもの最近の様子で気がかりなことがあれば、発表してもらい、本時のねらいを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体的なこと ・ 友人関係 ・ 異性関係 など <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>思春期の子どもはどんなことで悩み、どう解決しているのかを知り、親のスタンスを考えましょう。</p> </div>	<p>○親の目から見て、気がかりなことがあれば発言をしてもらおう。</p> <p>○発言しにくい場合は、教師がいくつかの事例を挙げ、挙手してもらおうなど指導方法を工夫する。</p>
15	<p>2 展開</p> <p>○子どもへのアンケート調査(別紙資料1「思春期(最近の悩み)に関するアンケート調査」)の結果を提示し、子どもがどんなことで悩み、どう解決しているのかを知る。</p> <p>< 思春期の悩み ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体的なこと(身長、体重、容姿など) ・ 性格的なこと ・ 学習、進路、将来に関すること ・ 異性・性に関すること ・ 友人関係に関すること(同性、異性) など <p>< 悩みの相談相手 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友人 ・ 家族 ・ 学校の先生 ・ インターネットや携帯サイトなどで知らない など 	<p>○アンケート結果をグラフにするなど見やすい工夫をする。</p> <p>○親自身も経験していることであるが、改めて、思春期の子どもの様子について確認をする。</p> <p>○思春期には、心と身体が急激に変化することを強調して説明する。</p> <p>○思春期には異性と性に興味関心が芽生えることを強調する。</p> <p>○異性との交際にあこがれる時期であること強調する。</p> <p>○悩みの相談相手としては</p>

<イライラを解決する方法>

- ・自分でどうすればよいかを考える
- ・ボーっとする
- ・友たちとメールやおしゃべりをする
- ・趣味に夢中になる
- ・がまんする
- ・誰かに相談する
- ・仕方ないとあきらめる
- ・インターネットやゲームで遊ぶ
- ・スポーツに集中する
- ・自分の部屋にこもる
- ・人や物にあたる

3 まとめ

○家庭教育支援資料（中学校10）「思春期の心と身体、異性と性」を配布し、親のスタンスについてまとめる。

- ・心と身体が急激に変化する時期
- ・自分を発見する時期
- ・性への関心が芽生える時期
- ・異性との交際にあこがれる時期



- ・思春期の子どもの気持ちを考えられる親でありたい
- ・何か問題が起こったら守ってあげられる親でありたい（予防や対処の仕方）
- ・犯罪に巻き込まれないよう正しい情報を提供できるようにしたい
- ・性情報に惑わされないよう子どもを守りたいなど

家族や友人が最も多いことを補足し、支えになっているのは友人や家族であることを強調する。

- 最近では、インターネットや携帯サイトで見知らぬ人に相談するケースが多く見られるようになり、それがもとで、犯罪に巻き込まれるケースが増えていることを補足する。
- 7割を超える子供たちは、自分でどうすればよいかを考えていることを説明する（東京都教育委員会「今、思春期の子どもたちはどのように生きているのか」H19.5.28）。
- 我慢したり、あきらめたりする子どもや体調をくずす子ども、自分を傷つけたり、人や物にあたるなど危惧される行動があることを強調する（同上）。
- 資料をもとに思春期の心と身体の変化を説明する。
- 個人情報に留意し、一般的な話題に終始するように努める。
- 子どもが自分自身を追いつめる前に相談できる家庭の雰囲気づくりについて強調する。
- 親として子どもの悩みを真剣に受け止める姿勢や問題が生じたときに毅然とした態度で注意するなどの姿勢が大切であることを強調する。
- 異性と性に関しては、家庭教育支援資料（中学校10）に目を通してもらう程度にとどめる。

